

「温かい中学校給食」で広がる笑顔

昨年9月4日から町立3中学校で始まった「温かい中学校給食」が1周年を迎えます

小学校の給食室で中学校分の給食も調理するという「親子方式」を採用し、中学生たちからは「小学校で食べていたメニューでうれしい」「みんなで同じものを食べられるので話題を共有できる」「作りたてで、温かくておいしい」といった喜びの声が上がっています。



学校給食にたくさん地場産品を！



インタビュー動画
#愛川町を食べよう!

町立小・中学校の給食では、食材として町内の地場産品を積極的に使用しています。今年4月からは、毎月1回、より多くの地場産品を献立に使用した「愛川パクパクデー」を実施しているほか、6月からは生産者の方々へのインタビュー動画を給食中に上映するなど、子どもたちへの食育を推進しています。

愛川ブランド劇場 「MC土門の紹介しちゃうぜ！」



MC土門の紹介しちゃうぜ！VOL.1「Cafe豊作」より

昨年7月に認定された第2期愛川ブランドは、農産品などの一次産品や、スイーツ、料理、伝統工芸品など、22のブランドで構成されています。

第1期から積極的にPR活動に取り組んでいただいている菓匠土門の土門巨幸^{なおよき}さんを「愛川ブランド劇場」の新編集長にお迎えし、22の認定品と事業者を紹介する動画シリーズをYouTubeで公開しています。

YouTube
「愛川ブランド劇場」



女子走り幅跳び 関東大会出場選手を激励しました

8月7日・8日に埼玉県熊谷市で開催された「第49回関東中学校陸上競技大会」に出場した、愛川中原中学校1年生の酒井^{かりな}璃那さん(春日台)の激励会を大会前に町役場で行いました。酒井さんは、「中学1年女子走幅跳」の部に出場。自己ベストタイを記録し「とても良い経験になりました」と話しました。



酒井さんと佐藤教育長
※撮影時のみマスクを外していただきました。

「愛川の火」を聖火に！ 東京2020パラリンピック採火式

8月13日、町では県立あいかわ公園「風の丘」で太陽光から採火した火を、町民皆さんの心と希望の道を明るく照らしてくれることを願う「愛川の火」として、県へ送り届けました。県では8月15日に、県内の全市町村で生み出された火の一つを集め、「ともに生きる社会かながわの火」として東京へ送り出しました。

そして今、その火が聖火として、オリンピックスタジアムに灯っています。

「愛川の火」を持つ小野澤町長



コロナ禍という困難を乗り越えて開催されている東京2020パラリンピックの成功を祈念して、かつて障がい者スポーツの世界大会や全国大会で活躍された町内にお住まいの二人のアスリートからメッセージをいただきました。



無観客となったパラリンピック。皆さん、自宅で熱い声援を送ろう！日本ガンバレ！あきらめるな！コロナに負けるな！

三井 茜さん(春日台)

平成15年「第11回スペシャルオリンピックス夏季世界大会」水泳競技200m平泳ぎ金メダル、100m自由形銅メダル



コロナで暗く沈みがちな世界に、パラアスリートの活躍と頑張りが光を与えてくれることを信じています。この日のために鍛えぬいた精神力と、練習で歯を食いしばった思いを決戦につけてください。スポーツで世界を元気に！選手の皆さん、頑張ってください！

倉木健治さん(三増)

平成25年「第13回全国障害者スポーツ大会(国民体育大会)」ボート競技優勝、平成29年「第39回香港ボート選手権」パラローイング優勝

国際ソロプチミスト愛川から 寄付をいただきました

7月29日、国際ソロプチミスト愛川(矢後克代会長)から、新型コロナウイルス感染症対策のためとして10万円の寄付をいただきました。町では「いのちを守る基金」に全額を積み立て、今後の感染症関連施策に活用します。



矢後会長(中央左)と小野澤町長、佐藤教育長、同会の皆さん
※撮影時のみマスクを外していただきました。



寄贈いただいた図書の一部

また、同会からは子どもたちの教育のためとして、毎年児童書を寄贈いただいております。本年度も85冊の児童書が寄贈されました。